

平成 30(2018)年度 区民参画イベント 報告書



▲ 青葉区



▲ 若林区



▲ 宮城野区



▲ 太白区



▲ 泉区

【青葉区】青葉区の明日を考える「あおばトーク」

1 開催概要

- 日 時 平成 31 年 3 月 3 日（日） 14 時～16 時 30 分
- 場 所 au SENDAI 2 階イベントスペース（青葉区一番町 3-8-8）
- 参加者 39 名（20 代以下 10 名／30 代 5 名／40 代 10 名／50 代 3 名／60 代 3 名／70 代 7 名）
- ファシリテーター 平山エリ氏
- テーブルファシリテーター 東北芸術工科大学 2・3 年生 6 名
- 内 容 6～7 人のグループを組み、「自分の暮らしについて」、「青葉区らしさってなんだろう」、「伝えたいこと、残したいもの」、「伝えたいこと、残したいもの、そのために自分にできること」の 4 つをテーマに話し合った。ワールドカフェ形式で、テーマごとに席を替えて話し合うことにより、多くの人と交流し、お互いの意見を聞き合う機会をつくった。



2 参加者の声

I. 自分の暮らしについて

- ・住んでいる所は生活に便利。でも高齢化をととても感じる
- ・ベランダから広瀬川が見える
- ・定禅寺通りの行きつけの喫茶店
- ・雪降らなくて過ごしやすい
- ・災害がまたあったら、地域で助け合えるかしら？
- ・住んでいる周辺の地名がきれい 水の森、桜ヶ丘、鷺ヶ森、八乙女など
- ・市の名所をめぐるのが好き
- ・秋田、岩手とひっこしましたが、仙台市がいちばん住みやすいと思います
- ・作並、新川の景色と空気のおいしいところ

II. 青葉区らしさってなんだろう

- ・まちに歴史を可視化できるものが少ない→可能性がある
- ・街と緑が混在していて、しかも調和を保っている
- ・文化的楽しみがある、集中してる（美術館、メディアテーク、イベント、音楽、アート、食べ物）
- ・意外に「らしさ」…が思いつかない。なんでも雑多にあるから？
- ・泉（泉ヶ岳）と太白（秋保）をつなげる青葉区の自然の山。
- ・生活（娯楽）区内で完結できる
- ・色んな人（立場、地域）が集まりやすい、利便性◎
- ・色んな趣味などにチャレンジできる環境が整ってる
- ・歴史的な基盤がありつつも、近代化、都市化、効率化へ舵を切り、旧城下町時代の面影を見るのは非常にきびしい状況である
- ・青葉区は広い地区だからこそ様々なアイディア、考えが出てくるのではないかな

III. 伝えたいこと、残したいもの

- ・ 歴史的な建造物はできるだけ残したい
- ・ 彫刻のある街並み
- ・ 街の中にある緑
- ・ 昔ながらの老舗
- ・ 広瀬川沿いの絶景+それを楽しめる環境
- ・ その土地らしさを感じられるもの（歴史的建造物である堤町の佐大商店登り窯や、柏木の横山味噌醬油店など）
- ・ 周りの人と顔見知りになり、気軽に声をかけられる環境
- ・ 文化の多種多様さ、アート、音楽、イベント
- ・ 職住商一体の昔ながらのまち
- ・ 都会化しすぎてほしくない！
- ・ 人が集まれるような場所→新しい文化が生まれるきっかけ、生活が豊かになる
- ・ 街なかでやるお祭り、大きなものから地域のものまで
- ・ 人口は減少するけれど、このまちには常に大学生の数は一定いるまち
- ・ 定禅寺通のケヤキ…20年後にどういう形で残っているの？みんなで考えたい

IV. 伝えたいこと、残したいもの、そのために自分にできること

- ・ 行く・使う・買う
- ・ 近所の人と仲良く
- ・ いろいろな行動をしている人と出会う→つながる行動する
- ・ 大震災の風化を防ぎ伝えていくこと！
- ・ 健康でいること
- ・ 多様な専門性をもった人どうしがつながる場づくり
- ・ 今日のような企画に参加する
- ・ 現職中の経験を生かす活動
- ・ 情報に敏感であること。自分の住んでいる所への関心を持つこと
- ・ 地元プロスポーツ集団（楽天・ベガルタ・89ers）応援の機会を増やしつつ必勝祈願！
- ・ 好きなお店で買い物する（個人商店が残ってほしいので）
- ・ 住みやすい街づくりに貢献したい
- ・ 若手の育成 一緒に考え共に行動する
- ・ 西部が「住みたい！」と思えるような地区になるにはどうしたら良いのか日々考える
- ・ 世代を越えて意見を聞いていきたい
- ・ 伝えられることはできるだけ書き残す
- ・ 青葉区のオススメを人に言えるようになりたい！！
- ・ 町内会長の立場から、地域が発展・継続してきた歴史を後世に伝えたい
- ・ 子ども達が住み続けたい様なまちづくり（帰属意識の醸成） お祭、イベント



【宮城野区】あなたも miyagino マイスター～宮城野区魅力発見カフェ～

1 開催概要

- 日 時 平成 31 年 2 月 17 日（日） 13 時～16 時
- 場 所 宮城野区中央市民センター2 階 第一会議室
- 参加者 26 名
(10 代以下 11 名／20 代 1 名／30 代 2 名／40 代 4 名／50 代 2 名／60 代 5 名／70 代以上 1 名)
- ファシリテーター 浜知美氏 (アリティィーヴィー株式会社 副社長)
- 内 容



【ステージ 1】宮城野区の魅力探し カルタで魅力発見！

- ・カルタ遊びを通して宮城野区の歴史や文化に触れた後、一人ひとりが考える宮城野区の魅力を出し合い、共有。



【ステージ 2】10 年後の宮城野区を考えよう！

- ・10 年後の宮城野区をテーマに、「こんなまちだったらいいな」という未来のまちの姿と、その実現に向けて「わたしたちができること」を話し合い、成果を発表。

【ステージ 3】宮城野区検定にチャレンジ！

- ・宮城野区検定を行い、宮城野区マイスターの認定証を授与！



2 参加者の声

I. 宮城野区の魅力 ～たくさんの魅力がある！もっともっと区のことを知りたい！自慢したい！～

○ 魅力あるイベントや集客施設がたくさん！

みやぎのまつり（多彩なステージ、ねこバス）、すずめ踊りの夏祭り、仙台うみの杜水族館、三井アウトレット&モール、仙台港（世界への玄関口）、アンパンマンミュージアム、東北楽天ゴールデンイーグルス本拠地、夢メッセ、キリンビール工場、Bivi、ヨドバシ、ラウンドワン、スポーツ施設（陸上競技場、元気フィールド、温水プール、ボルダリングなど）

○ 自然や歴史文化資源がたくさん！

桜の名所（榴岡公園、高森山、岩切城跡）、緑が多い、榴岡天満宮（学問、菅原道真）、政岡の墓、孝勝寺（五重の塔、ライトアップ）などのお寺、古い町並み、中原街道の名所、仙台歴史民俗資料館（県内最古の木造洋風建築が美しい、歴史も学べる）、与兵衛沼（散歩、キャンプ）、鶴ヶ谷中央公園（カモや白鳥）、日和山（日本一低い山、登頂証明をもらえる）

○ 暮らしの「いいね！」がたくさん！

人口が増えている、女性の割合や子どもが多い、少年野球が強い（岩切小学校、高砂ロビンスなど）、福祉のまち（鶴ヶ谷など）、病院が多く安心、防災の取り組みが活発、図書館が 2 館ある、平坦な道が多く立地環境が良好、東北本線や仙石線など交通手段が多い、海も山も両方ある、おいしいお店がたくさんある、産業も充実

II. 10年後の宮城野区 ～こんなまちだったらいいな・こんなことができるといいな～

多彩な魅力があふれ多くの人が集うまち	
賑わいスポットがもっと充実！	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城野通（仙台駅東口）が、人が集まるおしゃれな通りに ・楽天球場周辺が、遊園地やホテルなどが併設された集客拠点に ・東北楽天ゴールデンイーグルスが日本一に（社会貢献も期待） ・外国人が観光に来やすいよう多言語案内が充実している ・多彩な観光資源があり「るーぷる・宮城野区」が運行している
スポーツや音楽等をもっと楽しむ！	<ul style="list-style-type: none"> ・榴岡公園でイベントがたくさん開催されている（お花見も） ・路上ライブ、露天商など楽しさが道沿いにあふれている ・陸上競技場などを活用し、若者がスポーツを楽しめる環境がある ・ランニングロードが創設されている
自然や歴史・文化をしっかりと継承・発信！	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の町並みが再現されている ・海岸側の緑が増えている／砂浜が整備されている／花がいっぱい ・歴史、文化、自然など魅力を大切にしながらPR ・区民自身がまちの魅力を知り、誇りに思っている
生活環境が充実した住みよいまち	
多世代が支え合い活躍できる！	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代が住む共同住宅／地域住民が交流できる機会や場所がある ・女性が活躍しやすい環境（女性に優しい、女性町内会長も増加） ・高齢者も安心して外出できるまち（病院も近くに） ・買い物しやすいまち（買い物バス、宅配システムの充実、大型ショッピングセンター、深夜営業、東口にも本屋や100均等）
子育て・学び・遊びを楽しむ！	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしやすい環境が充実（託児所や赤ちゃん連れで行きやすいカフェやレストランが増える、高齢者が集まる所に子どもが来る、子育てコンシェルジュ配置、居場所づくり（児童館、不登校対策）） ・子ども達が元気活発に遊べる環境が充実（体を動かせる場所、野球少年が多い、テーマパーク等楽しめる施設が多数、学校が綺麗） ・大学が誘致されて若者が集まり、学びの環境が充実
交通アクセスが快適！	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故や渋滞が少なく、歩行者・自転車専用道路の設置で安全な交通ストレスのないまち／車がなくても生活しやすいまち ・電車・バスの本数が多い（又は地下鉄東西線延伸）／地域のニーズに応える交通手段（燕沢地区のような地域交通）の充実 ・Uber（ウーバー）の充実／区域外からのアクセスも良好に
東日本大震災の教訓を未来に継承するまち	
防災力のさらなるUP！被災地からの発信と交流！	<ul style="list-style-type: none"> ・より災害に強いまちに（広域防災拠点の活用、津波対策の強化、各町内会に防災拠点、災害時に利用できる場所の確保） ・子どもたちが高い防災意識を受け継いでいる ・震災で被害を受けた土地が、新たな交流の場・発信の場に

➤ 10年後の宮城野区 ～実現のために、わたしたちができること～

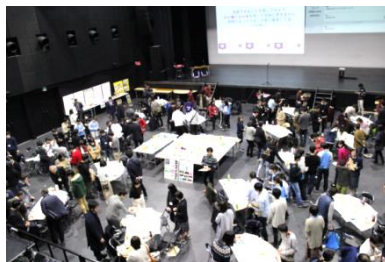
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と子どもが集える場所や機会を増やす（サロンなどコミュニティ形成や世代間交流の場を！） ・大学生や住民を中心に地域全体で子どもをサポート！ ・声掛け、趣味を通じた集まりなど人のつながりを生む活動（セミナー、ボランティア）を活発に！ ・もっともっと宮城野区の魅力を発信！（SNS、まちあるきMAP、リーフレット、歴史や文化の語り継ぎ、ゆるキャラ活用など） ・区民が積極的に要望する／政策決定機関に入る
--

【若林区】若林未来デザインカフェ～明日へKick off～

1 開催概要

- 日 時 平成 31 年 3 月 3 日（日） 13 時 30 分～16 時 00 分
- 場 所 SENDAI GIGS
- 参加者 93 名 ※中学生・高校生を中心に、概ね 30 代までの方を対象に募集
(小学生 4 名/中学生 47 名/高校生 3 名/30 代 以下 34 名/40 代以上 5 名)
- ファシリテーター 岩間友希氏 (株式会社都市設計 ディレクター/LLP モダンタイムス)
- 内 容

4～5 名でグループを組んで、「自分の住んでいる地域で、普段感じていること」、「自分の住んでいる地域で、もっとこうなったらいいなと思うこと」、「暮らしている地域に今の自分ができること、10 年後の自分ができること」について話し合いを行った。話し合いにあたり、テーマごとにグループを組み直し、多様な人・意見に触れる機会を創出した。また、区内で活動する方々の講演・パネル展示 (ReRoots、アルカス、WAK30、SPARK COFFEE ROASTERS、HOSTEL KIKO、七郷小学校が参加) を行い、市民の主体的な取り組みを知る機会を提供した。



2 参加者の声

I. 自分の住んでいる地域で、普段感じていること

好きなこと + 驚くこと	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史が生活に根付き、自然と調和した個性ある街並みがある 寺などの文化財や古くからの建物が非常に多い、古墳が多く遊ぶことができる、ワクワクする抜け道がある、荒浜からの景色・農村の風景がきれい、海が近く緑が豊か、桜が美しい、美味しい野菜が採れる、農家の方々が温かい ○ 物理的に生活がしやすく、日常に驚きがあふれる暮らしができる 坂が少なく道が平坦、道幅が広い、地下鉄など交通網が充実している、ボランティアの機会が多い、新しい住宅が増えて子供が増加している、街に可能性を感じる、外国人が増えている、自転車専用道がある、治安がいい
不満なこと + 困ること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子供にとって遊びに出かける場が少ない 小さな公園が多く自由にボール遊びやスポーツができる場所がない、アミューズメント施設・ショッピングモール・本屋・カフェ・おしゃれな店が少ない ○ 歴史的な街並みでの暮らしには危険や不便も伴う 信号機のない横断歩道が多い、歩行者用の通路が狭く道路が危ない、暗い道が多い、一方通行の道が多い、住む場所によっては交通が不便、バスの本数が少ない ○ 生活はしやすいが観光地としては魅力に欠ける 観光地が少ない、沿岸部への交通手段が乏しい、飲み屋など夜の楽しみが少ない

II. 自分の住んでいる地域で、もっとこうなったらいいなと思うこと

① 子供から大人まで、若林区に関わる人が「楽しい！」と思える地域づくり	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄東西線の駅周辺に商業施設が増え、人が集まり、賑やかな雰囲気生まれる ・ ボールを使って自由に遊ぶことができたり、遊び道具を貸し出してくれたりする、様々な年代が楽しめる公園・遊び場ができる ・ 荒浜や農地など、若林区の美しい景色を見られるツアーが開催される ・ 子供が集まる古墳をもっと面白い場所に変え、インスタ映えスポットにする ・ 子供が行きたいと思えるようなアミューズメント施設やカフェなどのお店が増える ・ カラーラン¹や野菜の被り物を被った出荷レースのような若者向けのイベントが増える
② 若林区の潜在力を活かした、新しい魅力づくり	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 座禅やお寺めぐりのような街中のお寺を活かした体験ができる ・ 外国人の増加に伴い、外国の料理教室や言語教室など他国の文化に触れる機会生まれる ・ 平坦な土地を活かしたサイクリングロードづくりと、レンタルサイクルの推進 ・ 若林の美味しい野菜をブランド化して全国に発信するとともに、地産地消を進める ・ 交通の利便性を向上するため、仙台駅直通バスや相席タクシー、周遊バスなどができる

III. 暮らしている地域に今の自分ができること、10年後の自分ができること

地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の姿をよく知るとともに、積極的に地域の活動に参加する ・ 10年後、自分が社会人になったら地域の集まりに入って話し合う ・ 植樹、ごみの分別、PRなどのボランティア活動に参加する ・ 環境などの問題に自分自身をもっと意識を高め、自然を残していく ・ 年齢層関係なく様々な人に挨拶したり、様々な年代の人と交流する ・ 暮らしている人が困らないように、路上駐車をしないなど交通ルールを守る ・ 伝統文化に触れることができる団体に所属する
交流・遊び	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園が狭くても楽しめる遊びを考える ・ 若者や高齢者のそれぞれが、集まれる場所をつくる ・ 若林区で行われているイベントに参加してみる ・ 区民祭りにおいて、学校の文化祭のような楽しいステージをつくる ・ ゲートボールを通じて高齢者と若者が世代を超えて交流する場をつくる ・ お寺を利用して外国人が泊まれるホテルをつくる／お寺で御朱印帳スタンプラリーや花見のイベントなどを行う／お坊さんと友達になる ・ 外国語を学び、自分自身が日本人と外国人の懸け橋になる ・ 外国人が来たいと思うような地域のお店をつくる／ゲストハウスを増やす
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が好きなお店やイベントについて、SNSで発信したり、ホームページをつくったりして、たくさんの人に伝えていく ・ まずは自分が観光スポットに行ってみて、その体験を周囲に発信する ・ 若者向けの情報誌をつくり、小・中学校で掲示・配布する ・ 若者が情報発信できるキュレーションサイト²のようなメディアをつくる

¹ カラーランとは、「世界で最もハッピーな5kmランニング」と呼ばれ、タイムを争うのではなく色の付いた粉を浴びて走る、楽しさを重視したランニングイベントのこと。

² キュレーションサイトとは、インターネット上の情報を収集しまとめているウェブサイトのこと。

【太白区】太白みらいトーク 私が住みたい10年後の太白区～私たちが出来ること～

1 開催概要

- 日 時 平成31年2月24日(日) 13時30分～16時30分
- 場 所 太白区中央市民センター3階 大会議室
- 参加者 61名
(10代7名/20代7名/30代6名/40代8名/50代8名/60代9名/70代以上16名)
- ファシリテーター 青木ユカリ氏(せんだい・みやぎNPOセンター常務理事兼事務局長)
- 内 容 ① パネリストによるトークセッション
② 参加者による話し合い(ワールドカフェ形式)

はじめに、事務局から総合計画・区別計画に関する説明及び太白区の特徴を表す基礎データを紹介した後、まちづくりや地域課題の解決に向けて区内で活動する3名のパネリストから、その目的や概要、今後の展望等についてプレゼンをいただいた。その後、ワールドカフェ形式による参加者同士のグループトークへ移り、太白区の魅力や課題を出し合うとともに、「10年後の太白区」をテーマに望ましい将来の姿とその実現に向けて自分たちができることについて個人ワークを行った。



2 パネリストによるトークセッション

(発表順)

I. 石橋ひろみ氏(柳生放課後子ども教室「柳生子ども塾」代表)

○ 行動することで繋がる子どもたちの未来

地元町内会のサロン会や地域イベントへの子どもたちの参加を通じて、地域のお年寄りの方々と交流を積極的に図っているほか、近隣の小中学校や地域の方々と協力して、昨年12月には「柳生キャンドルナイト」を初めて実施するなど、新しいイベントの企画にも挑戦しています。

II. 小岩孝子氏(NPO法人 FOR YOU にこにこの家 理事長)

○ いつまでも暮らしていきたいまち、誰にも優しいまちに

東中田地区で地域福祉に取り組んでいます。10年前は「みんながつながるまち」、「元気な高齢者に」、「地域のみんなで子育て」の実現が願いでした。震災の教訓を活かす取り組みも行いながら、この先10年は、「シニアがシニアを支えるまち」、「子育て・子育て応援社会」、「社会全体で誰にも優しいまち」を目指していきたいと考えています。

III. 加藤隆氏(長町・あすと長町活性化委員会委員(ゼビオアリーナ仙台 マネージャー))

○ 太白区を学生パワーで元気に!

長町商店街や地域の方と一緒に毎年企画している「長町秋のフェスティバル」の運営への学生ボランティアの参画を通じ、学生・若者が地域活動に取り組みやすい環境づくりを目指しています。学生等の活躍が街を元気にすることに繋がると考えています。

3 参加者による話し合い（ワールドカフェ形式）における参加者の声

テーマ：私が住みたい10年後の太白区～私たちが出来ること～

太白区の「いいところ」(魅力)	太白区の「気になるところ」(課題)
<ul style="list-style-type: none"> ・太白山、秋保温泉など自然豊かで観光地が多い ・交通の便が良い（電車、地下鉄、バス） ・商業施設、娯楽施設（動物園・遊園地）が充実 ・伝統文化、遺跡等の歴史的資源が多数存在 ・防災に対する住民意識が高い ・地域に密着したイベントが多い ・まちづくり勉強会など大学と地域が連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・斜面にある古い住宅団地。坂が多く、道路が狭くて危険 ・地下鉄が通っていない地域の交通の便が悪い ・あすと長町に文化・公共施設が少ない ・大型店の進出で地元商店街が衰退 ・様々な世代が交流できる場所が少ない ・高校生が集まる、勉強できる場所が少ない
私が住みたい10年後の太白区	
<p>様々な世代が交流し、人が集うまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、企業…学びの“カキネ”がない ・子供から高齢者、障害者が一緒に交流できる ・子供の居場所や若者が集まれる場所が多くある。多様な人々が楽しんで暮らせる ・中心部・郊外にかかわらず、交通の便が良い
<p>お互いに支え合い、自分らしく暮らせるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の個性と課題を共有し、支え合う ・若者・高齢者が住みやすい。みんなが活躍できる ・障害があっても手助けしてくれる人が大勢いる ・発展しても地域のつながりが失われない ・プロボノ、ICTやAI活用などで働き方が先進的になる ・防災の取り組みが充実
<p>地域の良さを生かした活力あるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作されなくなった土地や空き家が再利用される ・文化・スポーツ・芸術の幅広い活動がある ・名取川の清流が変わらずに残っている ・地域の歴史、伝統を大切に、愛着が感じられる ・それぞれの地域の良さを観光にも生かし、活気がある ・いろいろな世代が自分の住んでいる地域のまちづくりに参加している
私たちが出来ること（自分たちのアクション）	
<p>○ 知る・考える・話し合う（イベントへの参加、情報発信など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域についてもっと関心を持つ ・太白区の良さ（情報）を発信（共有）。SNSで区の自然をアップして知ってもらう ・大学や広報団体等と連携して、まちや商店街等に関する歴史を広める <p>○ 活動の実践（地域活動・ボランティアなど）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活動・イベント・ボランティア活動に参加。地域団体のリーダーとして運営企画を実践 ・障害者のサークル活動で作る商品の質と認知度の向上により、活動意欲を高める ・子育て中のママの居場所づくりの取組みを地域に根付かせる ・子育てを家庭だけでなく社会で行えるようにする取組みに関わる <p>○ 連携（活躍の場づくり、人材の育成・活用など）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域、家族をつなぐ後継者を育成、伝承する ・各地域に学生（小学生～大学生）の「地域みらいクラブ」をつくり、地域の情報発信・課題解決に取り組む ・様々な世代が集まって楽しめるイベントの開催、同じ悩み（子育て、介護等）を持つ人が集まって話し合えるコミュニティなどをつくる 	

【泉区】未来を語ろう！ ワールドカフェ in いずみ

1 開催概要

- 日 時 平成31年2月24日（日） 13時30分～16時30分
- 場 所 仙台ロイヤルパークホテル クラウンルーム
- 参加者 67名
(10代 14名/20代 12名/30代 8名/40代 9名/50代 10名/60代 7名/70代～ 5名)
- ファシリテーター 櫻井亮太郎氏（株式会社ライフブリッジ 代表取締役）
- 内 容

「泉区の特徴や好きなおところ」についての意見交換を行い、区の個性や魅力の理解を深めた。その後「期待する泉区の将来の姿」とともに、実現へ向けた対策について「自分たちができること」の視点も含めた話し合いを行った。席替えによる多くの交流の中で得たヒントを基に、自分の考えとしてのまとめを行い、共感できる意見にシールを貼り付け「見える化」を図り、多くの共感を集めた意見を共有した。

【問い1】泉区の特徴 好きなおところ

【問い2-1】将来、泉区はどのようなまち（区）になって欲しいですか

【問い2-2】そのためにはどうしたらいいと思いますか



2 参加者の声

I. 泉区の特徴 好きなおところ ～人を惹き付ける魅力が溢れている区～

○ 身近に心癒され、楽しめる自然やきれいな街並みがある

四季を通じて楽しめる泉ヶ岳（ウインタースポーツ、自転車、登山・散策、ドライブ、花や紅葉、山菜採り）、ジャングルの音（川、滝、動物や樹木の音）、県民の森やふれあい自然館、ボタニカルガーデン（ホテル）、きれいな街並み（広い道路、街路樹並木、景観と調和したおしゃれな建物）、歴史を感じることができるスポットや景勝地（亀の子石や光明の滝、松森城跡など数多くの桜の名所）

○ くらしや文化に関わる施設が多く、誰もが住みよい

生活に必要な施設（保育や福祉、学校、病院）、障害のある方などに優しいバリアフリー施設、図書館（宮城県図書館、泉図書館）、子どもが遊び・学べる体験施設（公園、キャンプ場、のびすく泉中央4プラ（中高生のための活動施設）、スケート場やプール）、イズミティ21、児童センター

○ 魅力的なコンテンツに溢れ、交流が盛んで活気がある

スポーツ拠点（エアテックスタジアム仙台、シェルコム仙台、ウェルファムフーズ森林どりスタジアム泉）、美味しい食材と食事処（米、蕎麦、ラーメンやスイーツ）、アウトレットモールや泉中央の大規模商業施設、祭りなどのイベント（ふるさと祭りや花火大会）、若者をはじめ多くの人が集まるカフェ、近隣市区町村への良好なアクセス（地下鉄、高速道路IC）

○ 地元愛着が強く、一体感がある

泉市のレガシー継承、泉区を良くしようとするボランティア活動が盛ん、有名人を多く輩出

II-1. 将来、泉区はどのようなまち（区）になって欲しいですか

住みたい、住み続けたいと思われる住みよいまち

- 一人ひとりの顔が見えるまち
- あらゆる立場、世代の人が気兼ねなく交流できるまち
- 誰もが安全に安心して暮らせるまち
- 子育てがしやすく、子どもの笑顔が溢れるまち
- 人と人がふれ合い、互いに寄り添い、助け合う、人に優しいまち
- 住民満足度が高いまち
- 多様な価値観を認め合えるまち
- 元気で健康に暮らせるまち
- 自宅で最期まで暮らせるまち
- 自然が生活や子どもの活動に活かされているまち
- 区外へ出ても戻ってきたいと思うまち

人が集まる、人を呼び込む、活力みなぎる賑わいのまち

- 人も仕事も多いまち
- 車に頼らず、快適に移動できるまち
- 若者（大学生や通勤族）に選ばれるまち
- 学びや遊びの要素が豊富なまち
- スポーツや祭り、食べ物をはじめとした賑やかなイベントが多く、刺激的なまち
- コンテンツが豊富で、知名度が高く、国内外から多くの人が訪れるまち
- 若者がチャレンジできるまち
- 女性や高齢者が活躍できるまち
- アクセスが良いまち
- 一人ひとりが必要とされるまち

II-2. そのためにはどうしたらいいと思いますか

<p>既存資源の有効活用 (空き家や空き部屋の シェアハウス、 リノベーション) 【空き家・住環境】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第2の家族制度の導入。転入してきた大学生や通勤族などの若者、外国人に、下宿やシェアハウスなどで安く、家族同様のふれ合いと心安らぐ生活を提供。その一方で、若者は家主の生活支援や地域でのボランティア活動などで地域の暮らしの充実に貢献。 ・ 空き家をリノベーションした商店づくりなどでまちを活性化 ・ 空き家を多世代交流施設に活用
<p>自動車に依存しない 交通環境の充実 【交通】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泉中央を中心とした循環バス（低料金、統一料金、回遊性） ・ 泉区に所在する企業の支援や広告料を基にバス交通を充実（まち全体で支える） ・ 観光地循環バス「(仮称) るーぷる泉」の運行 ・ 路面電車を整備し、地区内への自動車乗り入れ廃止と自然環境を保全 ・ コミュニティバス、白タク特区、寄合タクシー
<p>コミュニティの強化による地域課題の解決 【コミュニティ】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ おやじの会など、目的に応じた地域内グループ作りと、交流を通じた地域課題の解決 ・ 多世代交流、地域間交流ができる場所づくり ・ 市民センターなどの公共施設の閉館日を、学校の代休日となる月曜日ではない日に設定するなど、休みの日に学生等が集まれる環境づくり
<p>活力を生むコンテンツの充実 【活力・賑わい】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 六本木ヒルズのようなランドマークビルの誘致（企業、商業施設） ・ 学生が主体的に関われる刺激的なイベントの開催（食べ物、スポーツ） ・ 大学合同、対抗イベントなどにより区民に刺激を与える
<p>魅力ある泉区を伝える 【情報発信】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泉区アプリやY o u t u b e、S N Sの活用～動画紹介～ ・ T i k T o k（ショート動画のモバイルアプリ）による泉区を広報 ・ 泉区掲示板により、情報の共有と発信を充実

